

モジャコ情報 (平成15年用船調査結果)

調査期間：平成15年3月19日
 調査船：モジャコ漁船 10隻
 調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産試験場
 平成15年3月24日発行

1【海況】・・・“平年並み”から“かなり高め”

- ・ 黒潮北縁域は竹島の南7マイル付近にあり(3月19日現在)，接岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測(3月19日現在)では，黒潮流域で22.7 (やや高め)，薩南海域で21.0 (かなり高め)，西薩海域(3月9日現在)で16.6 (平年並み)であった。
 - 1 平年値は，昭和54年から平成14年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べかなり少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計462個であり，10マイル当たり4.7個で，昨年同期(12.9個/10マイル)の36.4%と少ない。また，平年(4.6個/10マイル)と比較してほぼ同じである。
- ・ 採取した流れ藻重量は0.4～20.3kg(平均5.8kg)で，昨年同期(0.5～100.0kg，平均8.9kg)に比べ小型の藻である。
- ・ 甌島北，宇治と草垣の間，硫黄島北及び南，種子島南東の海域で流れ藻が多い。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べかなり少ない

- ・ 採取した流れ藻は100個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は1.0尾/kgで，昨年同期(6.7尾/kg)の14.9%と少ない。また，平年(6.4尾/kg)と比較しても15.6%と少ない。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べやや大きい

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均50.1mm(範囲：20～114mm，モード：40～44mm)であり，昨年同期(40.7mm)より大型で，平年(50.5mm)より小型であった。

2 平成10年から平成14年までの3月(用船調査)の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月中旬用船調査)

調査項目	海 域	平成 15年	平成 14年	平成 13年	平成 12年	平 年
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	0.9	16.6	0.4	0.2	4.3
	種子島	7.6	6.8	5.9	3.3	4.2
	屋久島	3.5	15.3	1.5	3.1	5.0
	南薩	6.7	10.4	1.8	2.1	3.8
	西薩	4.7	15.5	1.3	2.3	5.5
	平均(全海域)	4.7	12.9	2.1	2.3	4.6
流れ藻 1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅	0.8	19.3	0.4	231.4	69.8
	種子島	2.1	11.0	2.3	16.1	10.0
	屋久島	0.9	7.8	2.8	13.5	17.2
	南薩	0.7	7.2	0.4	21.5	7.8
	西薩	0.1	0.7	0.8	0.7	1.0
	平均(全海域)	1.0	6.7	1.2	11.4	6.4
モジャコ平均全長 (mm)	大隅	50.8	39.8	55.0	49.0	50.7
	種子島	48.8	41.3	48.4	44.6	48.5
	屋久島	52.2	41.8	43.2	62.4	53.4
	南薩	50.4	38.3	58.2	48.5	46.2
	西薩	50.8	37.8	45.8	44.2	41.3
	平均(全海域)	50.1	40.7	47.9	51.1	50.5
定期船観測による 各海域の3月中旬 平均水温()	黒潮流域	22.52	22.90	22.22	22.25	22.25
	薩南海域	19.32	20.62	19.14	20.22	19.65
	西薩海域	16.50	17.22	16.28	18.48	16.63